

# 令和4年度事業報告

公益財団法人 日本消防協会

近年、減少傾向が続いていた消防団員数は、ついに80万人を下回る事となった。当協会はその総力を結集して消防団員の減少傾向をとどめ、団員の増員確保を実現するため、当協会に団員確保対策推進本部を設置し消防団員確保対策の推進、消防団PRの充実等に関する意見を順次とりまとめ、国など関係各所に要望した。

令和4年度においても地球規模の環境変化のもと、全国各地でさまざまな自然災害に見舞われ、死者・負傷者・住宅被害などの甚大な被害が生じた。当協会は、これらの災害に際し、大規模災害対策支援金の交付など必要な対応を行った。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、政府において、感染症法上の措置を高齢者・重症化リスクのある者に対する適切な医療の提供を中心とする考え方に転換し、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立をより強固なものとした、With コロナに向けた新たな段階への移行等が進められた。当協会においては、こうした動向に留意しつつ各般の事業の実施に努めた。全国少年消防クラブ交流会のようにやむなく中止された事業はあったものの、規模縮小をしながらも3年ぶりに開催した全国消防操法大会をはじめ、全国消防殉職者慰霊祭、全国女性消防団員活性化大会、定例表彰式、消防団幹部等特別研修なども万全の感染症対策を講じて実施することができた。

他方、消防団員の減少や新型コロナウイルス感染症の流行が消防団員等福祉共済事業の運営に与えた影響は大きく、掛金収入の減少と入院見舞金の激増等共済金給付額の増加をもたらす事となった。これに対処するため予算の補正措置を講じ、その運営に支障が生じることがないように対処した。

新しい日本消防会館は、令和6年5月末の完成を目指して建設を進めており、令和4年11月からは建物基礎工事を実施している。新会館が真に日本消防の総合的中核拠点としての役割を十分果たしていけるよう建設を進めるとともに、完成後の円滑な運営管理に向けて準備を進めている。

## I 公益目的事業

次のとおり、地域防災力の向上等に資する事業を実施した。

### 1. 消防団員等の福祉厚生に関する事業並びに消防殉職者及びその遺族に対する弔慰救済に関する事業

#### (1) 消防団員等福祉共済事業

##### ① 加入者数の状況

消防職団員等の加入者は、令和5年3月末日現在で765,701人となっており、そのうち消防団員の加入者は758,300人である。

##### ② 共済金給付の状況

支払われた共済金額は、総額13億7,729万円余である。

(内訳)

##### ア 公務で死亡又は障害を受けた加入者

弔慰金	2件	4,600万円
弔慰救済金	2件	1,200万円
見舞金	1件	40万円

##### イ 死亡した加入者又は障害を受けた加入者

遺族援護金・生活援護金、障害見舞金 837件 7億3,722万円余

##### ウ 事故又は疾病を原因として病院等に入院した加入者

入院見舞金 30,971件 5億8,166万円余

##### ③ 福祉増進事業

消防団員等の健康増進、福祉向上等に資する以下の事業を附帯業務として実施した。

##### ア 健康増進事業

###### ・ 季刊紙の発行

「いきいき消防」11万部を発行し、全国の消防団等に配付した。(年4回)

###### ・ 健康増進器具の配布

全国の消防団へ健康増進器具の配布等のための助成

###### ・ 都道府県消防操法大会への助成(4.(4)参照)

##### イ 大規模災害活動支援事業(2.参照)

##### ウ 慰霊祭事業

###### ・ 第41回全国消防殉職者慰霊祭[令和4年9月15日(木)]

防災の任務を遂行中、不幸にして尊い犠牲となられた、消防殉職者及び消防協力殉難者の功績をたたえ、その御霊に深甚なる敬意と感謝の誠を捧げるため挙行了した。

新合祀 8柱

合祀合計 5,784柱

###### ・ 慰霊祭助成[通年]

(ア) 都道府県消防協会の行う慰霊祭に対し助成金を交付した。

39道府県 455万円

(イ) 殉職者慰霊式助成金

なし

##### エ 加入促進事業・活動環境改善事業

###### ・ 車両交付事業

消防団活動車・防災活動車(SUV型)24台

###### ・ 女性消防団員制服交付事業

初めて女性消防団員を採用した消防団等に制服449着を交付した。(5.(2)参照)

- ・ 新たな災害環境に対応する消防団のあり方に関する講座（6. (2)参照）
- ・ 全国女性消防団員活性化徳島大会（4. (2)参照）
- ・ 全国消防団応援の店  
全国の消防団員をサービスの対象にする「全国消防団応援の店」は、各都道府県消防協会をはじめ関係の皆様のご協力のもとに急速に広がりつつあり、様々な業種が登録されて、令和4年度末には5,100店舗を超えた。
- ・ 全国消防団大会（4. (3)参照）
- ・ 全国消防操法大会（4. (1)参照）
- ・ 消防団幹部等特別研修事業（6. (1)参照）
- ・ 消防団防災学習・災害活動車両交付事業（5. 参照）
- ・ 消防団情報提供事業（8. (1)参照）
- ・ ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」（8. (4)参照）
- ・ 助成金の交付  
都道府県消防協会が行う消防団員研修、福祉共済加入説明会等に対し助成金を交付した。

## (2) 婦人消防隊員等福祉共済事業 [通年]

### ① 加入者数の状況

婦人消防隊員等の加入者は、令和5年3月末現在で10,706名となっている。

### ② 共済金給付実績等

弔慰金（8件）、重度障害見舞金（1件）、障害見舞金（1件）及び入院見舞金（21件）をそれぞれ支給した。また、都道府県消防協会等に対して会議費や事務費を助成した。

### ③ 加入の促進

婦人消防隊員等福祉共済制度加入推進計画に基づき、婦人消防隊員等福祉共済制度の説明会へ職員等を8回派遣して、制度の周知を図った。

## 2. 大規模災害の被災地に対する見舞及び支援並びにこれらの斡旋に関する事業

### 消防団災害活動等支援

長時間にわたり災害活動を行った消防団に支援金を交付した。

- ・ [令和4年7月] 大雨による被害への対応 1件（宮城県）
- ・ [令和4年8月] 大雨及び台風第8号による被害への対応 7件  
（北海道、青森県、秋田県、山形県、新潟県、石川県、福井県）
- ・ [令和4年9月] 台風第14号及び第15号による被害への対応 2件（宮崎県、静岡県）

## 3. 消防活動等の表彰に関する事業

### (1) 全国消防大会（第75回日本消防協会定例表彰式）[令和5年3月3日]

（一財）全国市町村振興協会の助成を受けて、次のとおり全国消防大会を挙行了た。

なお、定例表彰式は、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催した。

#### ① 定例表彰式

次のとおり、優良消防団等を表彰した。

- ア 特別表彰「まとい」（功績顕著なる消防団）10団
- イ 特別功労章（消防業務につき特別の功労のあった者）10名
- ウ 表彰旗（功績ある消防団）35団
- エ 竿頭綬（表彰旗を授与するに至らないが功績のある消防団）87団
- オ 功績章（消防の改善発達に特段の功績のある正会員）911名

- カ 精績章(永年勤続及び消防業務に関し、率先垂範その成績優秀なる正会員)2,191名
  - キ 勤続章(勤続30年以上に及び職務に精励した正会員)9,237名
  - ク 優良婦人消防隊表彰(優良な婦人消防隊)6隊
  - ケ 優良婦人消防隊員表彰(婦人消防隊の充実、発展に特に貢献した者)9名
  - コ 永年勤続者表彰(都道府県消防協会役職員等で勤続10年以上に及び勤務成績が良好な者)10名
- ② シンポジウム「地域防災力充実強化法制定10年を迎えて」をテーマに実施した。

- (2) 特別表彰〔随時〕1件

#### 4. 消防防災に係る記念事業及び大会の開催に関する事業

- (1) 全国消防操法大会〔令和4年10月29日(土)〕

(一財)全国市町村振興協会の助成を受けて、全国から45隊の出場による第29回全国消防操法大会を千葉県市原市において開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、第27回、第28回大会は中止としたが、今大会ではパフォーマンス的な動作については見直すなど、操法実技の一部を見直し実施した。

- (2) 全国女性消防団員活性化徳島大会〔令和4年11月22日(火)〕

徳島県徳島市のアスティとくしまにおいて、第27回全国女性消防団員活性化徳島大会を開催し全国から約1,400名の女性消防団員等関係者の方々が参加した。新型コロナウイルス感染拡大により3年振りの開催となった今大会は、防火防災啓発劇や記念講演、パネルディスカッション等を行い、徳島県の様々な伝統芸能の披露など、地域を越えた交流が図られる活気の溢れる大会となった。

- (3) 全国消防団大会(再掲)〔令和5年3月3日(金)〕

例年、消防の在り方等についてご意見をいただくシンポジウムを実施しているが、今年も、コロナ禍の状況を鑑み、映像配信により開催した。シンポジウムは「地域防災力充実強化法制定10年を迎えて」をテーマとして、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律の制定の経緯からこれまでの評価、そしてこれからのあり方について討議が行われ、その模様を全国に映像配信した。

- (4) 都道府県消防操法大会〔通年〕

35の都道府県が実施した消防操法大会を対象に1協会あたり50万円を限度として助成金を交付した。

- (5) 防災推進国民大会2022〔令和4年10月22日(土)～10月23日(日)〕

内閣府、防災推進国民会議及び防災推進協議会の主催により兵庫県神戸市において開催された防災推進国民大会2022に協力し、シンポジウム「未来につなぐ災害の経験と教訓 ～忘れない、伝える、活かす、備える～」を開催した。

#### 5. 消防防災に係る施設設備及び資機材の充実強化に関する事業

- (1) 消防団防災学習・災害活動車両交付事業

(一財)日本宝くじ協会の助成を受けて、地域住民等に対する防災指導や防災学習に使用するほか、災害時には人員輸送や資機材搬送などにも使用できる防災学習・災害活動車両を23台交付した。

- (2) 女性消防団員制服交付事業(再掲)

女性消防団員確保対策事業の推進と広報効果の向上を図るため449着の制服を交付した。

## 6. 消防団員等の教育訓練に関する事業

### (1) 消防団幹部等特別研修事業

#### ① 消防団幹部特別研修 [令和5年1月17日(火)～1月20日(金)]

(一財)全国市町村振興協会の助成を受けて、消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、消防団長等の上級幹部に対し各種教養を行い、消防団の指導者を養成した。

#### ② 消防団幹部候補中央特別研修 [令和5年2月1日(水)～2月3日(金)] 男性の部

[令和5年2月15日(水)～2月17日(金)] 女性の部

(一財)全国市町村振興協会の助成を受けて、消防団の幹部候補として活躍が期待される消防団員を対象に研修を実施した。

#### ③ 消防団員指導員研修 [随時]

(一財)全国市町村振興協会の助成を受けて、消防団員の指導員養成のためのテキスト「消防団幹部実務必携」を作成するとともに35の都道府県消防協会と連携して指導員研修(1,299名受講)を実施した。

### (2) 新たな災害環境に対応する消防団のあり方に関する講座 [随時]

時代の変化に即応した消防団活動の充実、消防団員の確保など消防団組織の強化を進めるため、全国で消防団の活動事例等を作成するとともに、これらを活用し、各都道府県の協力を得て、出前講座を20回実施した。

### (3) 全国消防操法大会 (再掲)

### (4) 全国女性消防団員活性化徳島大会 (再掲)

### (5) 都道府県消防操法大会 (再掲)

## 7. 地域防災を支える婦人消防隊、少年消防クラブ、自主防災組織等の活動支援に関する事業

### (1) 少年消防クラブ活性化推進事業

#### ① 全国少年消防クラブ交流大会

消防庁が主催し、鳥取県で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

#### ② 少年消防クラブ指導者交流会 [令和5年2月11日(土)] ホテルルポール麴町2階「ロイヤルクリスタル」

#### ③ (一財)日本防火・防災協会が実施する少年消防クラブ活性化推進会議 [令和5年3月7日(火)]

ヤクルト本社ビル6階大会議室

### (2) 婦人消防隊員等福祉共済事業 (再掲)

## 8. 消防防災思想等の普及徹底及び情報の収集提供並びに雑誌図書その他の刊行頒布に関する事業

### (1) 消防団情報提供事業 [通年]

(公社)全国市有物件災害共済会の助成を受けて、ホームページの充実を図り、日本消防協会の事業等について広報に努めるとともに、全国の消防団の活動状況、消防団員確保等に係る情報を提供し消防団相互の情報交流を積極的に推進した。

### (2) 機関誌「日本消防」発行事業 [通年]

全国の消防団の活動状況等を掲載した機関誌「日本消防」を88,800部発行し都道府県消防協会、関係省庁、都道府県、市区町村、消防関係機関、各図書館、報道関係等に無料配布した。なお、この他に有料分として、24,000部を発行した。(Ⅱ2. 再掲)

(3) 情報誌「地域防災」への発行協力

(一財)日本防火・防災協会が平成27年度に創刊した、地域防災に関する総合情報誌「地域防災」(隔月4万部)の発行に協力した。

(4) ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」[通年]

日本消防検定協会及び(一財)自治総合センターの協力を受け、全国30局ネットにより毎週計50回放送した。消防応援団等の方々が、各地の消防団員に電話インタビューを行い、広く消防団員の士気の向上、一般の人々の消防団活動に対する理解促進を図った。

(5) 消防懇話室

幅広い消防防災関係の皆さんに気軽に立ち寄っていただき、自由にお話し合いができるよう引きつづき日本消防協会仮事務所内(6階)に消防懇話室を設けた。

## 9. 防火防災訓練につき市町村が行う災害補償等の共済に関する事業

防火防災訓練災害補償等共済事業

(1) 加入団体数の状況

市区町村及び組合が防火防災訓練の際における事故について損害賠償又は災害補償を行う場合その負担をてん補することを目的とした制度で、令和5年3月末現在における契約団体数は1,276団体、総人口に対する契約団体の人口の割合は67.89%となっている。

(2) てん補実績等

損害賠償はなく、災害補償として、入院療養補償(3件)、通院療養補償(7件)及び休業補償(1件)をそれぞれてん補した。また、共済還元事業として、市町村等に対して防災活動車を10台交付した。

## 10. 消防防災に係る調査研究に関する事業

消防団員の減少傾向をとどめ、団員の増員確保を実施するため、会長、副会長、3委員会(消防団員確保対策等委員会、地震等防災対策委員会及び福祉共済事業等運営委員会)委員長、理事長及び常務理事を本部役員とする消防団員確保対策推進本部を設置(令和4年6月から2年)し、消防団員確保対策の推進、消防団員PRの充実等に関する意見をとりまとめ国等に要望した。

## 11. 都道府県消防協会及び消防諸団体の事業に対する協力並びにこれら団体の相互連絡に関する事業

都道府県消防協会のほか、殉職消防職団員等の子弟の育英事業を行う公益財団法人消防育英会、消防職団員の福祉厚生の一翼を担う生活協同組合全日本消防人共済会、民間防火組織の育成や防火・防災思想の普及を行う一般財団法人日本防火・防災協会、消防殉職者のご遺族の連絡組織である全国消防殉職者遺族会等に対する事業協力を行った。[通年]

## 12. 消防防災に係る国際協力に関する事業

(1) 日中韓消防交流事業

① 日中韓消防協会会議

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

② 日中消防協会定期協議会

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

③ 中国消防視察

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

- (2) 消防国際交流事業
  - ① 海外消防事情調査
    - ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
  - ② C T I F（国際消防救助協会）  
新型コロナウイルスの動向により C T I F 総会への出席を見送った。  
[令和 4 年 7 月 20 日（水）スロベニア／ツェリエ]
- (3) 消防車両等国際援助事業 [通年]  
各地の消防機関から提供された消防車両を整備し、開発途上国にポンプ車及び救急車等計 60 台を援助した。

## II 収益事業

公益目的事業の補完的役割を担う事業として次のとおり実施した。

### 1. 日本消防協会のホール（ニッショーホール）、会議室等を提供する事業 [通年]

貸室及び貸ホール等の利用状況(令和 5 年 3 月 31 日現在)

貸室	13 事業所	約 2,741.95 m <sup>2</sup>
ホール	210 回	
大会議室	81 回	
第 A、B、C 会議室 合計	156 回	

### 2. 消防防災に関する出版物や物品を販売する事業 [通年]

機関誌「日本消防」などの出版物、消防団協力事業所表示証及び日消グッズなどの販売促進に努めた。

### 3. 消防団員等を対象とする積み立て方式の年金事業 [通年]

- (1) 消防個人年金事業加入者数の状況  
消防団員の総合的な福祉の増進を目的とした事業の一環として実施しており、令和 5 年 3 月末現在における加入者数は 13,495 名、年金受給者は 12,003 名となっている。
- (2) 加入の促進  
消防個人年金加入推進計画に基づき、消防個人年金制度の説明会へ職員等を 24 回派遣して、制度の周知を図った。また、都道府県消防協会等に対して活動費や会議費を助成した。

## III その他

### 1. 日本消防会館の改築

日本消防会館の改築については、平成 28 年 6 月の役員会において決定した単独改築の方針に基づき、日本消防の総合的な中核拠点であるとともに市町村自治の発展に貢献することを基本とした新会館の建設を目指して、多くの方々のご相談を重ね、平成 30 年 6 月の役員会において、新日本消防会館の建設に着手することを決定した。

その後、令和 3 年 1 月から解体工事を開始し令和 4 年 10 月に完了した。その間、令和 3 年 11 月 12 日に起工式を執り行い、令和 4 年 11 月から建物基礎工事を行っている。

## 2. 正会員の状況

日本消防協会令和4年度会員数調べ

令和4年10月1日現在

正会員数	内訳		備考
	団員	職員	※うち女性消防団員
868,323 人 (△25,290 人)	782,330 人 (△25,442 人)	85,993 人 (152 人)	28,532 人 (534 人)

( ) 内は、令和3年10月1日からの増減



(参考1) 会議の開催状況

※ 新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しながら以下の会議を開催した。

## 1. 正副会長会議

第1回 [令和4年6月20日(月)]

場所 ヤクルト本社ビル6階 大会議室

提出議案 (1) 書面による定時理事会の議案等の結果について  
(2) 理事会等の議案等について

協議事項 (1) 「消防団員確保対策の推進」について  
(2) 新日本消防会館の建設について  
(3) 今後の全国大会等の開催計画について  
(4) 第29回全国消防操法大会の実施について

第2回 [令和4年9月15日(木)]

場所 ヤクルト本社ビル6階 大会議室

報告・協議事項

- (1) 新日本消防会館について
- (2) 消防団員増員確保対策について
- (3) 今後の全国イベントについて
- (4) 防災推進国民大会2022について

第3回 [令和4年12月12日(月)]

場所 ヤクルト本社ビル6階 大会議室

報告・協議事項

- (1) 令和4年度事業実施状況について
- (2) 今後の令和4年度事業等について
- (3) 令和5年度主要事業実施計画について
- (4) 消防団員確保対策に向けての動きについて
- (5) 新日本消防会館について
- (6) その他

第4回 [令和5年3月2日(木)]

場所 ヤクルト本社ビル6階 大会議室

提出議案 理事会、評議員会の議案等について

協議事項 地域防災体制の一層の強化推進について

## 2. 理事会

第1回 定時理事会(書面会議) [令和4年6月6日(月)]

議案 (1) 令和3年度事業報告の承認について  
(2) 令和3年度決算の承認について  
(3) 日本消防協会職員給与規程の一部改正について  
(4) 日本消防協会就業規則の一部改正について  
(5) 定時評議員会の開催について

第2回 臨時理事会 [令和4年6月21日(火)]

場所 ニッショーホール

- 議案 (1) 顧問の選任について  
(2) 内閣府への報告について（令和3年度事業報告及び決算）
- 協議事項 (1) 監事及び会計監査人の選任に関する監事の同意について  
(2) 「消防団員確保対策の推進」について  
(3) 市町村振興宝くじ（サマージャンボ）の販売促進の協力について  
(4) 新日本消防会館の建設について
- 報告事項 (1) 今後の全国大会等の開催計画について  
(2) 第29回全国消防操法大会の実施について

#### 第3回 臨時理事会 [令和4年6月21日（火）]

場所 ニッショーホール

- 議案 (1) 会長、副会長等の選定について  
(2) 地震等防災対策委員会、消防団員確保対策等委員会、福祉共済事業等運営委員会委員の委嘱について  
(3) 事務局長の任免について  
(4) 名誉会員の選任について

#### 第4回 臨時理事会（書面会議）[令和4年7月4日（月）]

- 議案 (1) 副会長の選定について  
(2) 消防団員確保対策等委員会及び福祉共済事業等運営委員会の委員の選任について  
(3) 名誉会員の選任について

#### 第5回 臨時理事会（書面会議）[令和4年11月30日（水）]

- 議案 (1) 日本消防協会職員給与規程の一部改正について  
(2) 評議員会の招集について

#### 第6回 定時理事会 [令和5年3月2日（木）]

場所 ニッショーホール

- 議案 (1) 令和4年度収支補正予算について  
(2) 令和5年度事業計画について  
(3) 令和5年度収支予算について  
(4) 令和5年度都道府県消防協会分担金について  
(5) 日本消防協会就業規則等の一部改正について  
(6) 役員賠償責任保険契約について
- 報告事項 新日本消防会館の建設について
- 諸般の報告(1) 今後の全国大会等の計画について  
(2) 防災推進国民大会の開催について  
(3) 全国消防応援団の店について  
(4) 消防育英会支援自動販売機の設置状況について

### 3. 評議員会

#### 第1回 定時評議員会 [令和4年6月21日（火）]

場所 ニッショーホール

- 議案 (1) 令和3年度事業報告の承認について  
(2) 令和3年度決算の承認について

- (3) 理事及び監事の選任について
- (4) 評議員の選任について
- (5) 会計監査人の再任について
- (6) 日本消防協会役員給与規程の一部改正について

理事会決議事項の報告

- (1) 顧問の選任について
- (2) 内閣府への報告について（令和3年度事業報告及び決算）
- (3) 日本消防協会職員給与規程の一部改正について
- (4) 日本消防協会就業規則の一部改正について

- 協議事項
- (1) 「消防団員確保対策の推進」について
  - (2) 市町村振興宝くじ（サマージャンボ）の販売促進への協力について
  - (3) 新日本消防会館の建設について

- 報告事項
- (1) 今後の全国大会等の開催計画について
  - (2) 第29回全国消防操法大会の実施について

第2回 評議員会（書面会議）[令和4年7月4日（木）]

- 議案
- (1) 評議員の選任について
  - (2) 理事の選任について

第3回 評議員会（書面会議）[令和4年11月30日（水）]

- 議案
- (1) 日本消防協会役員給与規程の一部改正について
  - (2) 補欠評議員の選任について

第4回 評議員会 [令和5年3月2日（木）]

場所 ニッショーホール

- 議案
- (1) 令和4年度収支補正予算について
  - (2) 令和5年度事業計画について
  - (3) 令和5年度収支予算について
  - (4) 令和5年度都道府県消防協会分担金について

理事会決議事項の報告

- (1) 日本消防協会就業規則等の一部改正について
- (2) 役員賠償責任保険契約について

報告事項 新日本消防会館の建設について

- 諸般の報告
- (1) 今後の全国大会等の計画について
  - (2) 防災推進国民大会の開催について
  - (3) 全国消防団応援の店について
  - (4) 消防育英会支援自動販売機の設置状況について

4. 監事監査 [令和4年5月30日（月）]

内容 令和3年度事業及び会計の監査について  
場所 ヤクルト本社ビル6階 大会議室

5. 顧問会議 [令和5年2月10日（金）]

場所 ヤクルト本社ビル6階 大会議室  
内容 日本消防会館の建設に関する最近の状況、消防団員の増員確保、他

## 6. その他会館改築関係

日本消防会館建設運営委員会	[令和4年6月20日(月)]	}	ヤクルト本社ビル6階大会議室
	[令和5年3月2日(木)]		
新・日本消防会館建設委員会	[令和4年12月5日(月)]		ヤクルト本社ビル6階大会議室
日本消防防災情報センター整備委員会	[令和4年6月16日(木)]		今朝ビル5階 汐留ビジネスフォーラム

(参考2) 役員名簿

役員 (令和5年3月31日現在)

理事(会長)	秋本 敏文		令和4年6月21日再任
理事(副会長)	花田 了彰	(北海道)	令和4年7月4日就任 (令和4年7月4日副会長就任)
〃	下山 正彦	(青森県)	令和4年6月21日再任 (令和4年6月21日副会長就任)
〃	沖山 仁	(東京都)	令和4年6月21日再任 (令和4年6月21日副会長再任)
〃	古山 大功	(栃木県)	令和4年6月21日就任 (令和4年6月21日副会長就任)
〃	水島 三雄	(福井県)	令和4年6月21日就任 (令和4年6月21日副会長就任)
〃	大濱 進彦	(大阪府)	令和4年6月21日再任 (令和4年6月21日副会長就任)
〃	延近 敬弘	(広島県)	令和4年6月21日再任 (令和4年6月21日副会長再任)
〃	市原 泰	(香川県)	令和4年6月21日就任 (令和4年6月21日副会長就任)
〃	陣内 成和	(佐賀県)	令和4年6月21日再任 (令和4年6月21日副会長再任)
理事(理事長)	三輪 和夫		令和4年6月21日再任
理事(常務理事)	田中 豊		令和4年6月21日就任
理事	小林 輝幸		令和4年6月21日再任
〃	熊野 主税	(北海道)	令和4年7月4日就任
〃	佐藤 孝義	(宮城県)	令和4年6月21日就任
〃	高橋 正尚	(秋田県)	令和4年6月21日就任
〃	飯田 孝彦	(神奈川県)	令和4年6月21日就任
〃	石橋 毅	(千葉県)	令和4年6月21日就任
〃	鍋谷 有介	(石川県)	令和4年6月21日就任
〃	水嶋 義弘	(愛知県)	令和4年7月4日就任
〃	岸野 雅信	(兵庫県)	令和4年6月21日就任
〃	植田 和生	(滋賀県)	令和4年6月21日再任
〃	永井 秀一	(岡山県)	令和4年6月21日就任
〃	小西 輝保	(山口県)	令和4年6月21日就任
〃	川田 昌和	(香川県)	令和4年6月21日再任
〃	大西 浩司	(愛媛県)	令和4年6月21日再任
〃	川上 清記	(長崎県)	令和4年6月21日再任
〃	高橋 昌久	(宮崎県)	令和4年6月21日再任
監事	吉田 秀一	(福島県)	令和4年6月21日就任
〃	葉梨 衛	(茨城県)	令和4年6月21日就任
〃	鹿熊 正一	(富山県)	令和4年6月21日就任
〃	井住 正三	(徳島県)	令和4年6月21日就任
〃	山口 純一	(熊本県)	令和4年6月21日就任

退任された役員（令和4年度中）

理事（副会長）	平井 勇光	（北海道）	令和4年7月4日辞任 （令和4年7月4日副会長辞任）
	福島 啓嗣	（福島県）	令和4年6月21日退任 （令和4年6月21日副会長退任）
	中島 正幸	（群馬県）	令和4年6月21日退任 （令和4年6月21日副会長退任）
	齋藤 雅美	（愛知県）	令和4年6月21日退任 （令和4年6月21日副会長退任）
	井尻 智久	（和歌山県）	令和4年6月21日退任 （令和4年6月21日副会長退任）
	川田 昌和	（香川県）	令和4年6月21日退任 （令和4年6月21日副会長退任）
理事（常務理事）	米田 順彦		令和4年6月21日退任
理事	能任 清志	（北海道）	令和4年7月4日辞任
”	鈴木 守	（新潟県）	令和4年6月21日退任
”	森田 耕一	（埼玉県）	令和4年6月21日退任
”	武井 郁郎	（長野県）	令和4年6月21日退任
”	鹿熊 正一	（富山県）	令和4年6月21日退任
”	岩木 政己	（三重県）	令和4年6月21日退任
”	木山 宗司	（鳥取県）	令和4年6月21日退任
”	松浦 嘉昭	（島根県）	令和4年6月21日退任
”	井住 正三	（徳島県）	令和4年6月21日退任
監事	山下 修治	（岩手県）	令和4年6月21日退任
”	井出 秀実	（山梨県）	令和4年6月21日退任
”	八木 聖二	（京都府）	令和4年6月21日退任
”	永井 秀一	（岡山県）	令和4年6月21日退任
”	篠永 修一	（福岡県）	令和4年6月21日退任